

2021 年度事業実施報告

第1 概要

食を通じて県民の健康増進を図ることを使命とする本会は、2021 年度 IT を活用し、公益 1・公益 2 の主要事業として次の 4 つの事業を中心に取り組んだ。コロナ感染蔓延防止対策期間、人が集まることができない中、講習会は DVD の作成により関係各所に配布を試みた。またオンデマンド配信の研修会や Zoom を用いての事例報告・シンポジウムを行うなどの学びを、新たな形で取り組み、実現させた。

また、当会ホームページに加え、インスタグラム、フェイスブックを開設し、会員はもとより、県民に向けてタイムリーな情報発信を試みた。

1. 高齢者対策

県の補助事業である「在宅医療（栄養）推進事業」では、新潟県歯科医師会と連携し在宅訪問栄養食事指導のモデル事業を行い、今後の多職種連携の方向性を見出すことができた。また新発田支部では医師との契約による栄養指導システムの構築を行い、2022 年度に繋げることができた。三条支部においては病院と施設の嚥下調整食の共有化が構築され、病院・施設の連携が整えられた。このように 2021 年度は各支部の特性を生かした事業の展開が行われ、2022 年度に繋がれたと実感する。

新潟県後期高齢者医療広域連合や長岡市からの委託事業では、保険適用外のフレイル予防対策や糖尿病性腎症重症化予防対策として、対象者への個別栄養指導を行い、重症化を遅らせ、生活の質の維持向上を図るなど、積極的な栄養改善に努めた。

新潟県地域包括ケア支援専門職協議会の構成団体として、各市町村で開催された地域ケア個別会議に助言者として参画し、個別事例について適切かつ専門的な助言を行った。

2. 生活習慣病の発症・重症化予防

主に各支部で開催している健康づくりに資する講演会やセミナーは中止となったところが多かった。

一方、長岡市の委託事業としての CKD・糖尿病性腎症の重症化予防のための栄養相談事業を行ったり、栄養・食生活支援を図るための健康レシピを作成し、新潟市のホームページに掲載するなど、制約の多い中で地域の実態や各ライフステージにおける多様な栄養課題に取り組むことができた。

2021 年度も、小児期からの生活習慣病発症予防を目的として、県内 29 市町村保育所（幼稚園）の 3～5 歳児を対象とした「新潟県小児肥満等発育調査」を実施した。

3. 災害支援対策

2021 年度コロナ禍で災害対策に関する検討委員会の開催が叶わない中、JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）リーダー育成研修に 5 名の会員が参加した。

新たに参画されたリーダーを加え、現状の問題点を洗い出し、平成 9 年度作成の「新潟県栄養士会非常災害時対応マニュアル」及び平成 18 年 3 月改定の「新潟県栄養士会災害時の栄養・食生活支援マニュアル改訂版」を現状に即した内容への見直しを開始した。

4. IT を活用した会議や研修会の開催

コロナ禍の社会環境から急速に浸透した事業における IT の活用を積極的に取り入れた。

「在宅医療（栄養）推進事業」の在宅訪問管理栄養士人材育成研修会 5 回、「生涯教育実務研修会 5 回」「栄養士研修会」「新入会員研修会」や「地域ケア個別会議助言者研修会」は Web 配信を中心に行った。

また理事会（第 4 回）、常任理事会、支部・職域事業部における役員会は Zoom を利用して行った。

2021 年度はホームページの他にインスタグラム、フェイスブックを開設し、情報の発信を行った。

第2 詳細

I 公益1の事業：公衆衛生・健康づくり・食育事業及び栄養相談・指導事業（詳細は別記2・3参照）

事業区分	事業内容等
<p>1. 健康づくり啓発に資する事業</p>	<p>(1) 講演会・セミナー・イベント等の事業</p> <p>ア 行政事業に協力し、栄養・食生活に関する講座等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯元気講座（新発田市事業に協力） 4月～3月まで 17か所 165名参加 ・食育推進事業（長岡市事業に協力）中止 <p>イ 関連職種団体、行政等から依頼のあったイベントはコロナ感染拡大のなか中止、あるいは縮小開催が相次いだが、開催が叶ったものについては参加し、ブース展示や栄養・食事相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すこやかともしびまつり 2021（長岡市主催）内容変更のため不参加 ・柏崎市歯の健康展（柏崎市に協力）中止 ・生活習慣病予防展（新潟県健康づくり財団）中止 ・世界糖尿病デーin長岡（長岡市医師会）縮小開催のため参加なし ・糖尿病を知るつどい（長岡市医師会）中止 ・福祉・介護・健康フェア（社会福祉協議会他）中止 ・Tainai 健康づくりフェア（他職種団体と連携）中止 ・病院祭での啓発（佐渡支部）中止 ・十日町地域糖尿病予防ワークショップ（十日町地域糖尿病対策連携会議） 健康管理の工夫セミナーに協力（講師派遣） ・在宅栄養推進事業（村上支部） ブース内展示 来場者 369名 ・「介護の日」県民のつどい 2021年10月17日 新潟ユニゾンプラザ「栄養」に関する展示 ・新潟市民健康まつり、歯の健康展等（新潟市歯科医師会） 縮小開催となり参加なし ・健康寿命延伸フォーラム（新潟県医療推進協議会主催） Webによる縮小開催となり、「食生活」をテーマの講演に講師の選定を行う。 <p>ウ 行政・団体等からの委託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスアップレシピ作成事業（新潟市から委託） 栄養・食生活改善を目的としたレシピを作成し、新潟市ホームページに掲載した。 ・ヘルパー向け「フレイル予防調理講習会」（魚沼市から委託） ヘルパーさん向け調理動画DVDを作成し、市内8事業所に属するホームヘルパー及び高齢者家族に配布した。 <p>(2) 「食育」に関する事業</p> <p>ア 食育啓発事業</p>

<p>2. 健康づくり支援に資する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食育人形劇（新発田支部） 中止 ・地域食育普及事業三条まんま塾（三条支部） <ul style="list-style-type: none"> 市民の健全な食生活や地産地消の推進、地元農業への理解を進めるための意識啓蒙活動及びイベントに参加することにより総合的な健康づくり対策に寄与することができた。 <p>イ 高校生米ふれあいスクール事業（新潟県米消費拡大推進協議会協力事業） 高校生を対象に、ごはん食を中心とした日本型食生活の重要性に対する理解を図った。 18校 25回 471名参加</p> <p>（3）情報提供に関する事業</p> <p>ア ホームページを活用して健康メニューの紹介など栄養情報の発信に努めた。</p> <p>イ 日本栄養士会の栄養ワンダー事業（栄養の日・栄養週間）を活用し、栄養の重要性を発信した。（7・8月）</p> <p>ウ 魚沼支部ではFMゆきぐに（毎週月曜 栄養士によるラジオ放送）を活用し、魚沼地域住民へ向けた栄養情報の発信及び、機関紙「雪国新聞」に月2回レシピを掲載した。</p> <p>（1）栄養ケア・ステーション事業</p> <p>ア 栄養相談事業及び、特定保健指導・スポーツ栄養教室・食育推進活動関連事業等への講師派遣を実施した。 講師派遣： 31団体へ、延べ1,555名</p> <p>イ 栄養成分表示義務化に伴う栄養計算業務 実績： 3施設 3件</p> <p>（2）栄養相談・食事指導に関する事業</p> <p>ア 在宅医療（栄養）推進事業（新潟県補助事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「在宅療養者のQOLの向上」を事業目的に掲げ、在宅訪問栄養指導推進の周知活動や会議の開催、モデル訪問栄養指導の実施、活動拠点の整備、人材育成を目的とした研修事業を実施した。 実績：延べモデル在宅訪問栄養食事指導及び電話指導80回、指導対象患者数36名 ・実施した事業内容と症例等をまとめた「事業報告書」を作成した。 ・三条支部において、地域情報共有の目的で「三条地域 病院・施設別嚥下食調整分類一覧表」を作成した。 ・新発田支部において、新発田北蒲原医師会・しばた地域医療介護連携センターと在宅療養者を対象とした、「しばた栄養サポート」のシステムの構築に取り組んだ。 ・在宅訪問管理栄養士人材育成研修会 新潟県補助事業である在宅医療（栄養）推進事業の中で、在宅訪問栄養食
-------------------------	---

	<p>事指導の要請に応えられる人材育成を目的とした研修会をWebにより開催した。</p> <p>在宅栄養ケア総合研修会 実績：1回 受講者 延べ223名 人材育成研修会 実績：4回 受講者 延べ206名 人材育成症例検討会 実績：1回 受講者 20名 支部訪問指導症例検討会 実績：3回 受講者 17名 訪問担当者実務研修会 実績：3回 受講者 21名 在宅栄養ケア周知講座（出前栄養講座） 実績：4回</p> <p>イ 在宅訪問栄養食事相談事業（新潟県後期高齢者医療広域連合から委託） 低栄養及びフレイル状態の後期高齢者の在宅訪問栄養食事相談事業を実施した。 実績：訪問指導 延156回 指導対象者 67名</p> <p>ウ CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業（長岡市から委託） 食事療法、運動療法、薬物療法のセルフケアを身につけ実践できることを目的に開催した。 相談会15回 参加者 177名</p> <p>エ 新潟県地域ケア個別会議への参画 ・地域の多職種の専門的な助言により個別事例の課題検討を行う地域ケア個別会議に参画。 実績：市町村開催 延べ137回、助言者派遣 延べ136名 ・新潟県地域包括ケア支援専門職協議会（6職種）の構成団体として、助言者育成のための研修会に参画、パネラー等で参加。</p> <p>オ 通所介護施設における利用者の栄養改善サービス事業 ・低栄養状態にある通所利用者に栄養改善サービスを実施した。 実績：施設数 1施設 延べ指導回数 77回</p> <p>カ 新潟市糖尿病推進会議に参画（新潟市支部） （糖尿病ミニ講座、糖尿病を知るつどいは中止となった。）</p>
--	---

II 公益2の事業：学術・技術の振興・普及事業（詳細は別記1・3・4参照）

事業区分	事業内容等
1. 「調査・研究」に関する事業	(1) 新潟県小児肥満等発育調査 県内29市町村保育所・幼稚園3～5歳児を対象に、子どもたちの健やかな育ちに資することを目的とし調査を実施した。 調査数42,377名
2. 研修会事業	(1) 栄養士研修会（新潟県から委託） 2022年2月28日（月）～3月6日（日）オンデマンド配信にて研修会を開催した。 受講者数 136名 (2) 生涯教育研修会

<p>3. 「新潟栄養・食生活学会」の振興</p> <p>4. 災害事対応の整備・強化</p>	<p>生涯教育実務研修会をオンデマンド配信にて5回開催 受講者数 延べ1041名</p> <p>(3) 新入会員研修会 (Zoomを使用したWEB研修会) 2020・2021年度新入会員を対象に、2022年2月19日(土)に実施。 参加者 6名 栄養士会の役割や生涯教育研修会制度の説明、先輩会員や参加者同士の交流が深められた。</p> <p>(4) JDA-DAT (日本栄養士会災害支援チーム)に関する研修会 JDA-DAT リーダー育成研修会 4名参加 JDA-DAT リーダースキルアップ研修会 1名参加</p> <p>(5) 地域ケア個別会議助言者育成事業 (県委託事業) ・DVD視聴による助言者育成研修会 7月16日～28日 参加者6名 ・フォローアップ研修会 12月5日 参加者14名 ・スキルアップ研修会 2月20日 参加者22名 (Zoomにて開催)</p> <p>(6) 支部・職域事業部、地域連携による研修事業 10支部・7職域事業部において研修会を開催。また地域の関連多職種と共催の研修会に参加し、資質の向上に努めた。 実績：研修回数 14回、参加者 465名</p> <p>「新潟栄養・食生活学会」への助成及び学会発表の促進 学会振興のための助成を行った。学術集会での研究発表は中止とし、『学会誌』を発刊した。投稿数10題のうち、県栄養士会会員によるものは5題であった。</p> <p>災害対策に関する検討委員会 ・組織図、マニュアル等の見直しを図るため委員会を開催。14名出席</p>
---	---

III その他の共益的事業

事業区分	事業内容等
1. 機関誌「栄養新潟 vol. 54」発行	2021年度の栄養士会活動をまとめた機関誌「栄養新潟」を作成し、会員の他に新潟県地域機関、市町村保健衛生担当課及び、栄養士養成施設の卒業生等にも配布し、栄養士活動のPRに努めた。 1,760部
2. ホームページの充実	(1) 賛助会員のコーナーを設け、「お知らせ」を掲載。 (2) インスタグラム、フェイスブックを開設し会員への情報提供を図った。

